

評価項目	評価指標	具体的取組	学校評価アンケート（職員・児童・保護者） 令和6年11月下旬実施 回答数職員〇名、保護者〇名、児童〇名 回答種（%） A・・・そう思う B・・・だいたいそう思う C・・・あまりそう思わない D・・・そう思わない	回答者別	総合評価	学校自己評価	学校関係者評価
						評価内容	評価内容
か く い ん	1 児童は、授業内容を理解していますか。	○ 主題研究等を通じた授業の工夫改善（1人1授業による授業改善） ○ 「わさび」を意識した授業（国語・算数・特別活動）の実践（児童が主役の授業）		児A 保B 職B	B	○ 「子どもたちが主役の授業」となる学び合いのある授業づくりを通して、「言語活動の充実」と「学びに向かう力」の育成に努めた。 ○ 児童が自分で考える「課題設定の時間」を中・高学年で実施し、家庭学習の充実につなげた。 ○ 毎週、キュビナの時間を設定し、繰り返し復習に取り組ませることで、取組率の向上につながった。宿題等での活用により、職員の負担軽減につながった。 ○ 図書館サポーターによる給食中の読み聞かせや図書館環境の整備により、児童の読書意欲の向上につながった。 ● 個に応じた指導の充実を図る必要がある。 ● 学力向上に向けた主題研究を今後も継続し、授業力向上を図る必要がある。	B
	2 児童は、家庭学習の習慣が身に付いていますか。	○ 家庭学習の充実（課題を児童に考えさせる取組） ○ OJTの充実（学び続ける教師）		児A 保B 職B			
	3 児童は、できない問題ができるようにあきらめずに練習していますか。	○ 朝の活動等でのAIドリルキュビナの取組 ○ よむ YOMU ワークシートの活用		児B 保B 職B			
	4 児童は、学校での読書や家読週間での読書に取り組んでいますか。	○ 図書館サポーターや家庭と連携した図書館教育の充実（家読週間や読書月間の取組） ○ 読書活動の充実（読書目標到達者 低100冊 中80冊 高60冊）		児B 保B 職B			
さ く う ん	5 児童は、楽しく学校に通っていますか。	○ 「児童一人一人のよさや可能性」を伸ばす教育の推進 ○ 自他ともに大切と認め合える集団づくりの推進		児A 保A 職B	○ スクールワイドPBSの考え方（具体的内容）を、機会あるごとに伝え、共通理解を図って取り組むことができた。 ○ 教育相談を定期的なことで、児童の困り感を早期に解決することができた。（組織的対応） ● ウェルビーングな学校づくりのために、全教職員でさらに共通理解・共通実践を図っていく必要がある。	○ 登校時、高学年が下学年にやさしく接している場面があるので、おもいやりの心が育っている。 ○ 幼稚園や保育園の年長から人間関係のトラブルがあるので、入学初期段階での丁寧な指導はとても大切である。 ● 家庭環境を考慮して、児童の生活面の指導を行う必要がある。	
	6 児童は、友達にやさしく、思いやりのある態度で接していますか。	○ いじめ不登校対策委員会の充実 ○ 教育相談の定期的実施 ○ 全校朝会での講話の充実 ○ 「良い言葉の花」の取組（児童同士の啓発） ○ 「言葉づかいピンゴ」の取組		児A 保A 職B			

たけな	7 児童は、自分から進んであいさつや返事を行っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつがんばり週間（全職員による見届け） ○ 教職員から率先して挨拶をする取組の実践 	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>児童</th><th>保</th><th>教</th></tr> <tr><td>A</td><td>54.6</td><td>43.9</td><td>0</td></tr> <tr><td>B</td><td>37.8</td><td>49.1</td><td>88.9</td></tr> <tr><td>C</td><td>7.6</td><td>5.3</td><td>11.1</td></tr> <tr><td>D</td><td>0</td><td>1.7</td><td>0</td></tr> </table>	Category	児童	保	教	A	54.6	43.9	0	B	37.8	49.1	88.9	C	7.6	5.3	11.1	D	0	1.7	0	児A 保B 職B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員による見届けや称賛により、自分からあいさつをする児童が増えた。 ○ 日常指導や重点指導により廊下歩行・トイレのスリッパの並べ方が向上した。 ○ 授業（特別活動）の工夫・改善により、児童の自主的な取組につながった。意欲・態度面の向上が見られた。 ● 規範意識の定着では、繰り返し、継続して、全職員で取り組んでいく必要がある。（家庭との連携） 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の見守り活動で、挨拶カードを配付する活動から、挨拶をよくするようになった。高学年が挨拶をすることで下学年もよくするようになった。 ● 朝登校時、昨年より挨拶する児童が少なくなっている。 ● 挨拶等は家庭環境が影響しているため、家庭への啓発も必要である。
	Category	児童	保	教																								
	A	54.6	43.9	0																								
B	37.8	49.1	88.9																									
C	7.6	5.3	11.1																									
D	0	1.7	0																									
8 児童は、学校のきまりを守っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廊下歩行・トイレのスリッパ並べ月間 ○ 学期1回「記名チェックカード」の取組 	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>児童</th><th>保</th><th>教</th></tr> <tr><td>A</td><td>47.6</td><td>56.1</td><td>0</td></tr> <tr><td>B</td><td>40.0</td><td>42.1</td><td>88.9</td></tr> <tr><td>C</td><td>12.4</td><td>1.8</td><td>11.1</td></tr> <tr><td>D</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	Category	児童	保	教	A	47.6	56.1	0	B	40.0	42.1	88.9	C	12.4	1.8	11.1	D	0	0	0	児B 保A 職B					
Category	児童	保	教																									
A	47.6	56.1	0																									
B	40.0	42.1	88.9																									
C	12.4	1.8	11.1																									
D	0	0	0																									
9 児童は、特別活動の充実により課題解決に向けて取り組む態度は育っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 係活動・委員会活動・クラブ活動における児童の自主的な取組 ○ 「運動会・すこやかフェスタ」における児童の自主的な取組 	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>児童</th><th>保</th><th>教</th></tr> <tr><td>A</td><td>55.9</td><td>49.1</td><td>11.1</td></tr> <tr><td>B</td><td>38.5</td><td>36.9</td><td>77.8</td></tr> <tr><td>C</td><td>5.6</td><td>14</td><td>11.1</td></tr> <tr><td>D</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	Category	児童	保	教	A	55.9	49.1	11.1	B	38.5	36.9	77.8	C	5.6	14	11.1	D	0	0	0	児A 保B 職B					
Category	児童	保	教																									
A	55.9	49.1	11.1																									
B	38.5	36.9	77.8																									
C	5.6	14	11.1																									
D	0	0	0																									
たけな	10 児童は、ふるさと石山をよくしようとしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営協議会と連携した教育活動の推進 ○ 学校教育（総合的な学習の時間）の中で、地域の課題に気付かせる活動の推進 	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>児童</th><th>保</th><th>教</th></tr> <tr><td>A</td><td>55.3</td><td>47.4</td><td>11.1</td></tr> <tr><td>B</td><td>35.7</td><td>40.4</td><td>77.8</td></tr> <tr><td>C</td><td>7.3</td><td>10.5</td><td>11.1</td></tr> <tr><td>D</td><td>1.7</td><td>1.7</td><td>0</td></tr> </table>	Category	児童	保	教	A	55.3	47.4	11.1	B	35.7	40.4	77.8	C	7.3	10.5	11.1	D	1.7	1.7	0	児A 保B 職B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の行事に前向きに参加しようという意欲が見られた。 ○ 全校朝会の講話によって、立腰意識の高揚につながった。 ○ 中学校の栄養教諭を招いての食育授業は、「食べる力」＝「生きる力」を育む機会になった。 ● 週末は、スポーツ少年団等の関係で参加できない児童も見られた。 ● 立腰の姿勢について、各学級で定着するための指導を継続する必要がある。 ● 家庭と連携した食育指導を行う必要がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度と本年度の比較から児童の肥満傾向を受けて、食育指導の充実に取り組むことは大切なことである。 ○ 「弁当の日」の取組は意義があるので、継続して取り組んでほしい。 ● 地域の保護者同士の関係が築けていないので、児童の地域行事への参加が減っている。 ● 歩いて登校する児童を増やすために保護者への啓発が必要である。
	Category	児童	保	教																								
	A	55.3	47.4	11.1																								
B	35.7	40.4	77.8																									
C	7.3	10.5	11.1																									
D	1.7	1.7	0																									
11 児童は、座っているとき、立腰の姿勢ができていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全校朝会の講話による立腰意識の高揚 ○ 立腰週間の設定 	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>児童</th><th>保</th><th>教</th></tr> <tr><td>A</td><td>41.7</td><td>14</td><td>0</td></tr> <tr><td>B</td><td>40.2</td><td>59.6</td><td>66.7</td></tr> <tr><td>C</td><td>15.4</td><td>24.6</td><td>33.3</td></tr> <tr><td>D</td><td>2.7</td><td>1.8</td><td>0</td></tr> </table>	Category	児童	保	教	A	41.7	14	0	B	40.2	59.6	66.7	C	15.4	24.6	33.3	D	2.7	1.8	0	児B 保B 職B					
Category	児童	保	教																									
A	41.7	14	0																									
B	40.2	59.6	66.7																									
C	15.4	24.6	33.3																									
D	2.7	1.8	0																									
12 児童は、食事のマナーを守り、自分で決めた量の給食を残さず食べていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食育の充実（栄養教諭を招いての食育授業） ○ 学担による給食指導の充実 	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>児童</th><th>保</th><th>教</th></tr> <tr><td>A</td><td>53.4</td><td>87.7</td><td>0</td></tr> <tr><td>B</td><td>31.5</td><td>12.3</td><td>88.9</td></tr> <tr><td>C</td><td>12.2</td><td>0</td><td>11.1</td></tr> <tr><td>D</td><td>2.9</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	Category	児童	保	教	A	53.4	87.7	0	B	31.5	12.3	88.9	C	12.2	0	11.1	D	2.9	0	0	児A 保A 職B					
Category	児童	保	教																									
A	53.4	87.7	0																									
B	31.5	12.3	88.9																									
C	12.2	0	11.1																									
D	2.9	0	0																									
たけな	13 PTA 活動など学校と家庭・地域との連携が図られていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営協議会の充実 ○ 読み聞かせボランティア・紙芝居ボランティアの活用 ○ Sigfy の活用 	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>保</th><th>教</th></tr> <tr><td>A</td><td>52.6</td><td>0</td></tr> <tr><td>B</td><td>45.6</td><td>100</td></tr> <tr><td>C</td><td>1.8</td><td>0</td></tr> <tr><td>D</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	Category	保	教	A	52.6	0	B	45.6	100	C	1.8	0	D	0	0	保A 職B	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営協議会で、よりよい学校にするための熟議を行い、学校運営に生かす機会になった。 ○ Sigfy の活用により、スムーズな伝達やペーパーレスにつながった。 ○ 各種通信やホームページ等で教育活動の様子を発信することにより、家庭や地域の理解や協力を得ることにつながった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ Sigfy 配信のアンケートで効率的に回答できた。 ○ 保護者や地域への情報発信等がよく図られていると思う。 ● 体験的な活動を充実させるために、さらに地域の人材を活用する必要がある。 					
	Category	保	教																									
A	52.6	0																										
B	45.6	100																										
C	1.8	0																										
D	0	0																										
14 学校便り・学級通信・ホームページ等で学校・学級の様子を知らせていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的な学校便り・保健だより・学級通信の発行 ○ 定期的なホームページの更新 	<table border="1"> <tr><th>Category</th><th>保</th><th>教</th></tr> <tr><td>A</td><td>76</td><td>44.4</td></tr> <tr><td>B</td><td>21</td><td>55.6</td></tr> <tr><td>C</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>D</td><td>1</td><td>0</td></tr> </table>	Category	保	教	A	76	44.4	B	21	55.6	C	2	0	D	1	0	保A 職B										
Category	保	教																										
A	76	44.4																										
B	21	55.6																										
C	2	0																										
D	1	0																										

